

デジタル・ヒューマニティーズに関する研究動向調査

A. メンバー

【事業推進担当者】 八村広三郎

【招聘教員】 鈴木桂子

【客員研究員】 當山日出夫

B. 研究目的

このプロジェクトでは、国内外のデジタル・ヒューマニティーズ(DH)、および、それに関連する種々の研究活動について、調査することを目的としている。DH に類似する、人文学研究におけるコンピュータ利用は、我が国においてもかなり早くから始められており、いくつかの研究機関・組織が活動している。

また、国外においては、すでに DH は、確立した一つの研究分野となっている。

これらの研究機関・組織の活動状況がどのようなものであるか、把握しておくことは、本グローバル COE の日本国内外での、研究拠点の位置づけを自ら明確にするうえで重要な意味をもつ。

C. 本年度の成果

本年度は以下の国際会議・国内会議に参加しました、一部においては講演を行った。

全体的な傾向として、日本において関連の国際学会が多く開催されるようになっており、「デジタル・ヒューマニティーズ」の用語とその示すものについての、理解がようやく広がりつつあるのを感じている。

- (1) 2011.5.21 情報処理学会「人文科学とコンピュータ」研究会 於：同志社大学
- (2) 2011.7.30 情報処理学会「人文科学とコンピュータ」研究会 於：大阪電気通信大学
- (3) 2011.9.12-14 Osaka Symposium on Digital Humanities 於：大阪大学
- (4) 2011.10.20-22 Culture and Computing 2011, 於：京都大学
Conference Co-chair と Digital Humanities Special Track Chair
- (5) 2011.11.18 INKE Workshop 於：京都・立命館大学
Plenary Panel Presentation: "Digital Archiving of Intangible Cultural Properties: Measurement, Analysis, and Representation of Body Motion"
- (6) 2011.11.19 DH-JAC 於：京都・立命館大学
- (7) 2011.12.9 「デジタルキュレーションシンポジウム—時を越え、違いを越えて、知をつなぐ」 於：東京・印刷博物館、
講演「情報技術と人文科学の新しい出会い—デジタル・アーカイブ、デジタル・ヒューマニティーズ、そしてデジタル・キュレーション」
- (8) 2011.12.10-11 情報処理学会「じんもんこん」シンポジウム 於：京都・龍谷大学
- (9) 2012.2.2 シンポジウム「文化情報の整備と活用～デジタル文化財が果たす役割と未来像2012」 於：東京・丸の内ホール
講演「情報技術と人文科学～デジタルヒューマニティーズの世界動向」

(10) 2012.3.3 Harvard-Ritsumeikan Symposium on Digital Humanities 於：ハーバード大学・米国・ケンブリッジ
デジタル・アーカイブ技術研究班の研究紹介および、”Virtual Yamahoko Parade of Gion Festival”の講演

ンピューティング」国際会議を、京都大学、立命館大学 GCOE との共催で開催した。これには、八村も組織委員(Co-chairperson)として活動した。また、”Digital Humanities” Special Track の Chair も務めた。来年度は 2012.10.21-24 に中国・杭州市にて開催される。八村は今年度と同じく、Digital Humanities Special Track のチェアを勤める。

D. 論文・学会発表以外の活動の記録

- ・2011.5.24? 立命館大学英国事務所開設記念シンポジウムに参加し、本拠点全体の紹介および、「無形文化財デジタル・アーカイブ」グループにおける研究紹介を行った。
- ・2011 年 10 月 20・22 日に第 2 回の「文化とコ

- ・GCOE 叢書第 06 巻「デジタル・アーカイブの新展開」の編集を田中弘美教授と共同で行った。
- ・2011.11.17 NUA 学術情報システム研究会@立命館大学 BKC
基調講演「情報技術と人文科学の新しい出会いーデジタル・ヒューマニティーズー」

E. 業績一覧

〈著書〉

八村広三郎, 田中弘美編『デジタル・アーカイブの新展開』ナカニシヤ出版, p.343, 2012 年 3 月 30 日, Kozaburo Hachimura, and Tiromi T. Tanaka eds., “*New Developments in Digital Archives*”, Nakanishita Shuppan, 343p., 30 March 2012

〈著書 (分担執筆)〉

八村広三郎, 田中弘美「デジタル・ミュージアムの実現に向けて」八村広三郎, 田中弘美編『デジタル・アーカイブの新展開』ナカニシヤ出版, pp.16-37, 2012 年 3 月 30 日, Kozaburo Hachimura, and Tiromi T. Tanaka, “Towards the Realization of the Digital Museum”, Kozaburo Hachimura, and Tiromi T. Tanaka eds., “*New Developments in Digital Archives*”, Nakanishita Shuppan, pp.184-205, 30 March 2012

八村広三郎「デジタル・アーカイブ技術の現状と課題」八村広三郎, 田中弘美編『デジタル・アーカイブの新展開』ナカニシヤ出版, pp.1-15, 2012 年 3 月 30 日, Kozaburo Hachimura, “The Current Status and Issues of Digital Archiving Technology”, Kozaburo Hachimura, and Tiromi T. Tanaka eds., “*New Developments in Digital Archives*”, Nakanishita Shuppan, pp.169-183, 30 March 2012